

広報 あいづ ばんげ

4

No.656
2019



目次 - CONTENTS -

下水道への接続をお願いします！	4
下水道の正しい使用をお願いします	5
町配布物の元号表記について	6
大型連休中の日程・問い合わせ先	
坂下南幼稚園・坂下東幼稚園 開放日	7
ばんげ保育所 施設開放・子育て支援のお知らせ	
国保の窓口 国保の加入・脱退の手続き	8
日帰り人間ドック受診者募集！	9
子育て世代包括支援センター事業	10
図書室だより・町史編さん調査余話(20)	11
齋藤町長のスマイルトーク・まちの話題	12
お知らせインフォメーション	15
こどもと健康の広場	18
つるし雛でひなまつり	20

特集

強さの源

—相撲に励む町の子どもたちと、
彼らを支える人々—

強さの源

— 相撲に励む町の子どもたちと、
彼らを支える人々 —

古くから相撲が盛んに行われてきた会津坂下町。近年、当町の数多くの相撲競技者が全国大会に出場するなどの大きな活躍を見せている。日頃から高みを目指し相撲に取り組む児童・生徒やそれを支える人々を通して、その強さの秘密に迫る。

奉納相撲が行われる相撲が盛んな町

相撲文化の始まりとされている。

小学生から相撲に親しむ

会津坂下町で毎年七月に行われる御田植祭では、小中学生による「奉納親善相撲大会」が行われる。時代の流れとともに各地域で姿を消したが、当町では祭事の一つとして奉納相撲の文化が継承されてきた。これが町の

小学生から相撲の授業が行われるようになったのも、奉納相撲の練習が始まりと言われている。小学校で相撲の授業を行うのは、他ではあまり見られない当町の特徴である。



会津農林高校の土俵で練習する坂下中学校・会津農林高校の相撲部員たち。土俵の中で相撲を取る中学生を囲み、真剣な表情で見つめる高校生たちからは、厳しくも的確なアドバイスがされる。

授業では外部コーチを招き、技術的な指導に加え、「礼に始まり、礼に終わる」という相撲の精神が教えられる。

また、学校に土俵があることも珍しい。土俵は奉納試合の練習に励む子どもたちのため、町の建設業者から寄付され、相撲の文化をさらに発展させることとなった。

小学校時代に相撲の面白さを知った子どもたちは、さらに練習を重ね、やがて中学生・高校生となり、さらに上を目指して練習に励むようになる。

中高生が互いに刺激し合える環境がある

当町では、中高生が合同で練習しており、その環境がますます彼らを強くする。

会津農林高校にある土俵で、両校は週3回程合同で練習に励んでいる。町のスポーツクラブで中高生と一緒に練習したことをきっかけに、両校が合同で練習するようになった。

「自分より強い高校生と練習することが、大会の好成績に結

坂下南小学校・坂下東小学校

1年生の頃から相撲を始め、技術だけでなく、「勝っておごらず、負けて腐らず」の精神や礼儀を学ぶ。校内相撲大会で好成績を残した児童を中心に、7月開催の御田植祭の「奉納親善相撲大会」に出場する。



坂下南小学校の授業の様子。子どもたちの白熱した練習が続く。



御田植祭の奉納相撲では、両校の児童代表による試合が行われる。

坂下中学校相撲部

毎日の部活動の他に、町のスポーツクラブで週3回程練習に励む。練習では、ぶつかりや四股(しこ)踏みなどに加え、擦り足や筋トレといった基礎を継続することも大切にしている。



インタビューに答えてくれた工藤礼暖さん。

【平成30年度成績】○第61回福島県中学校体育大会 団体第3位 東北大会出場 ○平成30年度福島県中学校新人相撲大会 団体優勝 ○第9回白鵬杯出場

生徒を導く監督や保護者

子どもたちが相撲に打ち込むために欠かせない存在である監督や保護者の皆さんから、子どもたちへの熱い思いを伺いました。

相撲の精神と、魅力を伝える

小学校で授業の指導や、大会の審判をしています。子どもたちには、技術面はもちろん、相撲の基本である礼儀を教えています。始まりは昭和50年頃、御田植祭の奉納相撲に取り組む小学生のため、金上小学校で指導したのがきっかけでした。

相撲を取ると、子どもたちは眠っていた闘争心に火が付くのか、表情豊かになります。これから長く相撲を続けていってもらえるよう、小さい頃から相撲の魅力に触れ合ってもらえるよう指導していきたいと思います。



会津相撲協会
会長
佐藤清隆さん

大好きな相撲に 打ち込めるように支えたい

コーチの皆さんと連携し、技術的な指導に加え怪我をしないようアドバイスしながら指導しています。相撲が大好きで、ひたむきに努力する生徒の姿を見てきました。坂下中学校の相撲部は特設で、普段は柔道部に籍を置いて練習していますが、相撲に打ち込めるよう指導していきたいと思います。



坂下中学校
相撲部監督
鈴木貞男教諭

相撲に打ち込める環境、生徒 たちの熱意が強さに繋がる

私自身、高校生の時に会津農林高校相撲部に所属し、相撲部の最盛期を見てきました。その経験を指導に活かしています。

生徒たちは努力を重ね、相撲部は再び最盛期を迎えようとしています。勝ち続けるのは難しいことですが、毎日の積み重ねを大切に、日々切磋琢磨している生徒たちは、これからはますます強くなっていくことでしょう。



会津農林高校
相撲部監督
大森賢治教諭

恵まれた環境に感謝 心に根付く『相撲道』

「常に謙虚であれ」という『相撲道』の精神のもと練習に励む子どもたちを支えるため、中高生の練習日の調整などを行っています。会津坂下町の相撲は、相撲人口の多さや高い技術、本人たちの努力を惜しまない意識の高さが集結し、県内で一番の盛り上がりを見せています。今後も子どもたちを全力で支えていきたいと思います。



坂下中学校
外部コーチ
工藤みどりさん



①取材に協力してくれた坂下中学校・会津農林高校相撲部の皆さん。②部活動の様子。試合形式の練習が行われた。③構えの姿では、精神を集中させる。



「びついています」と語ったのは、坂下中学校1年の工藤礼暖さん。また、会津農林高校2年の荒井悠真さんも「後輩に教えることで、自身の理解と技の向上に繋がっています」と語った。全国的に相撲人口が減少している状況の中で、当町の強みは

幅広い年代の子どもが大人数で練習できる環境にある。互いが刺激し合うことで、さらに強くなっていく。

相撲を続ける子どもたちの今後の活躍

小学生の頃から相撲を始め、練習を継続してきた子どもたち。彼らの努力と、それを支える周囲の環境が、町の児童・生徒の強さを築き上げてきた。これから、子どもたちは鍛錬を積み、相撲に対する熱意を胸に、さらなる飛躍を見せてくれるだろう。

会津農林高校相撲部

毎日の部活動では、基礎の練習を大切にしている。彼らの練習の成果は実を結び、「福島県高等学校体育大会」では県内の強豪校を破り団体優勝するなど、数々の活躍を見せてくれた。



【平成30年度成績】

- 第64回福島県高等学校体育大会 団体優勝
- 平成30年度福島県高等学校新人体育大会 団体優勝
- 第71回福島県総合体育大会 団体優勝
- 第26回東北高等学校選抜相撲選手権大会 団体第3位

インタビューに答えてくれた荒井悠真さん。「切磋琢磨し合える仲間が多くいることが、強さに繋がっている」と語ってくれた。